

語り部だより

語り部ジュニア始動！

第2期生開講式行われる

6月21日、旧三尾小学校において、語り部ジュニア第2期生の開講式が行われました。新型コロナウイルスの影響により、4月開校予定が延期となってました。2期生は、7名。そのうち2名は、1期生からの継続生です。今回、新しく入講した5名は、美浜町内からは2名、御坊市内からは

3名です。

語り部部会のリーダーである柳本より「ようこそ、語り部ジュニアへお越しくださいました。・・・語り部ジュニアとは、日本や世界を背負うみなさんが、三尾やカナダ移民の歴史を学んで、それを伝えるという役目をするることによって、三尾地区が活性化する・・・



オリエンテーションを受けるジュニアたち

発行
NPO法人
日ノ岬・アメリカ村
語り部部会
Let's KATARIBE
〒644-0045
美浜町三尾778
旧三尾小学校内
TEL: 0738-20-9015
URL: americamura.wakayama.jp

挨拶

語り部部会リーダー
柳本文弥

2018年4月からスタートした「語り部ジュニア」は、今年から二期生が活動を始めました。子どもたちは、三尾の



歴史を学び、カナダ移民の歴史を学び、そしてそれらを後の世に伝えるた

め学習をおこなっています。そこにはさまざまな発見とおどろき、奇跡、感動が生まれています。太古より海に生き、海外へと目を向けた先人たちの進取の気性。人種の違いを乗り越え、差別や戦争に翻弄されながらも

ろしくお願ひします」と挨拶。

その後、講師とジュニアのそれぞれから、自己紹介が行われました。

新たなジュニアからは「英語をもっと習いたい」「お姉ちゃんが1期生の時に来ていて、私も楽しそうやってみたいと思った」「美浜町に住んでいて、何も三尾のことが知らないで学びたい」「1期生の友達に参加したい、色々楽しそうだった、三尾のことを学びたいと思う」「松洋中学生として美浜町のことを、もっと知りたいと思った」など参加した動機を話してくれました。

語り部ジュニア紹介

- 黒谷 未来 (中1)
- 祭本 知里 (中1)
- 岡本 亜樹 (中2)
- 田端 美波 (中3)
- 中村 紗和 (中3)
- 祭本 佳江 (中3)
- 栗林 愛結 (大2)

講師

- 柳本 文弥
- 向井 忠晴
- 吉川 徹
- 出石 美佐
- 三尾 雅信
- 上山 己歩
- ケリー・マク
- 日高町 日高川町
- 美浜町 御坊市
- 美浜町 美浜町
- 美浜町 美浜町
- 美浜町 美浜町
- 美浜町 美浜町
- 美浜町 美浜町
- 美浜町 美浜町

第1期生による

“MINI三尾ツアー”

オリエンテーション後は、1期生の栗林さんと、黒谷くんのガイドによる「MINI三尾ツアー」が行われました。アメリカ村バス停付近の工野儀兵衛翁顕彰碑やトイレの壁画、光明寺、堤防より海猫島を眺め、龍王神社、



カナダミュージアム前で記念撮影

法善寺、最後はカナダミュージアム前で、記念写真を撮って解散しました。このツアーはもともと、1期生の卒業イベント「スタンプリー」として、これまで2年間の成果を、三尾地区の方々に見て戴くために準備を進めていました。しかし、新型コロナウイルスの影響で、イベントは延期のままとなっていました。1期生は遅れた授業を取り戻すために、多忙な日々を送っています。1期生の閉講式もできずに心残りはありますが、新たにバトンタッチされた2期生の今後に期待したいと思います。

報告 三尾

授業体制について

語の部ジュニアの授業は、旧三尾小学校の音楽室において、毎週日曜日の午前9時40分から11時40分までの2時間行っています。歴史と英語の授業が各1時間です。ご興味のある方は、ぜひ、授業の様子を見に来てください。

「アメリカ村の歴史と

カナダ移民」ビデオ鑑賞

7月5日に、第一回目の授業が行われました。

この日の歴史の授業では、アメリカ村資料館の館長であった故西浜久計さんが編集された「アメリカ村の歴史とカナダ移民」のビデオ鑑賞をしました。

このビデオでは、三尾の古代から近代にかけての歴史と、工野儀兵衛のカナダ移民から始まり、戦後の移民の現状を伝えています。

ビデオを見た後は、歴史を担当している三尾から、自身の先祖もカナダ移民で

あったこと。カナダの叔父が亡くなってからは、カナダとの繋がりも途絶えたこと。三尾やカナダでも高齢化により、移民当時のことを知っている方が少なくなりました。その子孫たちとは繋がりが薄れている現状を伝えました。そして、語の部ジュニアたちによる、新たな繋がりを期待していることを話しました。

英語の授業では、英語で自己紹介。そして、英語を使ったゲームでは、ピクニックや誕生日に持つていく物をテーマに「I will bring ○○」と順番に前の人たちが言った物も含めて復唱をするゲームを、先生たちもみんな入り楽しみました。

報告 三尾



みんな、英語をつかって自己紹介

カナダミュージアム

見学

7月12日は、語の部ジュニアたちがカナダミュージアムを見学しました。

館長の三尾たかえさんが野田邸の歴史や展示品について説明をしてくださったのですが、初めて見たら聞いたりすることもたくさんあり、皆熱心に聞き入っていました。

三尾を知る最初の一步として、ミュージアム見学はとても印象深いものになったようです。

報告 出石



三尾館長より説明を受ける

三尾の自慢・見どころ紹介

三尾のひじき

梅雨が明けるとひじきの加工作業が始まります。今年は例年よりも梅雨明けが遅かったですが、作業が終わり、販売されています。

三尾のひじきは、昔ながらの釜蒸し・天日干し加工が守り続けられています。

蒸すことで栄養分が逃げず、日の光を浴びたひじきは、ミネラルがたっぷり！



暑さに耐えながらの釜蒸し

この蒸し作業が大変で、暑さの中、つきっきりでひじき粉をくべ、4~5時間火を見守る。蒸し終われば、そのまま一晩おき、翌朝からゴザの上にひじきを薄く広げ、一日かけて天日干しをし仕上げます。

三尾のひじきは、逸品。自慢の一つでもあります！！



ゴザの上に干されたひじき

語の部ジュニアの育成が開始となり、はや2年が経ちました。1期生であった子どもたちは、その2年間三尾まで足を運びました。しかし、教室での授業が中心であったためか、地元三尾の人達との関わりがほとんどなく、活動についてはあまり知られていないと感じていました。

今回、「語り部だより」が創刊されることになりました。この機関紙が、三尾の人たちとのカケハシになることを願っています。

三尾

編集後記

語り部ジュニアとは

三尾からの移民の歴史を学び、それを英語で外国人観光客に案内ができるようにと、毎週日曜日に旧三尾小学校で学んでいる子どもたちです。

三尾は過疎化が進む中で、カナダに移り住んできた方が増え、関係も薄れてきました。世代間交流を築き、発展する機会が生まれ、可能性が広がると確信しています。